

廣報廣聽常任委員會會議錄

長 与 町 議 会

広報広聴常任委員会会議録

本日の会議 平成 2 8 年 9 月 2 3 日

召集場所 長与町議会議場（第2委員会室）

出席委員

委員長	金子	恵	副委員長	安部	都
委員	中村	美穂	委員	岩永	政則
委員	分部	和弘	委員	浦川	圭一
委員	吉岡	清彦	委員	竹中	悟

欠席委員

なし

職務のため出席した者

課長補佐	細田	浩子	主任	山田	傑
------	----	----	----	----	---

本日の委員会に付した案件

- ① 議会だより159号について
- ② 議会報告会について

開 会 9時30分

閉 会 12時03分

○委員長（金子恵委員）

皆さんおはようございます。

定足数に達しておりますので、本日の議会広報広聴常任委員会を開会いたします。

本日も次第に沿って進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いします。

まずは議会だより159号についてですね、チェックの方をしたいと思います。しばらく作業に入りますので、録音の方を停止します。

（録音停止）

作業が終わりましたので、委員会に戻します。

先ほど、広報の方のチェックが終わりましたので、次に2つ目の議会報告会についてですね、話を進めてまいりたいと思います。前回、広報広聴の方で、全協の方に諮る部分があるのではないかとということで、お諮りをしたところ、皆さんの意見が、小人数化、細分化して各地区、コミュニティ単位などとするのがいいのではないかとのご意見が多かったようです。そして他にテーマを設けるということで、先ほどの各地区、コミュニティ単位の5会場がいいのではないかとご意見。そして日程、これは、現在平日の夜にしておりますが、土曜日とかも考慮に入れてもいいのではないかと、それに伴う時間帯も考えてみてはどうかというご意見が全協の中では出されたところでした。

お手元に、27年度の議会報告会開催要領ということで出させていただいておりますが、ここの2番目のところで、開催日時、会場、班分けですね、これに伴う班分けということで決めていきたいと思うんですが、まず、開催日時に関しては大体いつぐらいかいいと考えていらっしゃるか、ご意見を賜りたいと思いますが、いかがでしょうか。ないですか。

浦川委員。

○委員（浦川圭一委員）

ちょっとこれ順番が前後するんですけど、この町民の意識調査のアンケートの話ですけども、こういうのも、開催すれば結果等も議題になると思うんですよ、議会報告会の。これのまとめがいつぐらいになるのかですね。こういった結果をもって公表する、あるいは別にしてでも、聞かれた時に対応できるように、こういうのは済んだ後がいいんじゃないかなと思いますけど。

○委員長（金子恵委員）

他は、いかがでしょうか。

安部委員。

○委員（安部都委員）

いろいろ特別委員会などもありますけれども、そのようなものを考慮したとして、12月以前に一度した方がよろしいのではないかなというふうに思います。

○委員長（金子恵委員）

他ありませんか。

はい、岩永委員。

○委員（岩永政則委員）

3枚目の班編成は、この27年度分ということで理解していいですね。

○委員長（金子恵委員）

はい、お手元の資料はおっしゃるとおり27年度分のみをお出ししております。
他、ありませんか。

浦川委員。

○委員（浦川圭一委員）

結果はいつ頃になるか分からないのでしょうか。

○委員長（金子恵委員）

課長。

○議事課長（富永正彦君）

今の予定では、一応、回答の締切りを10月21日ということで発送する予定で考えています。締切りの後にもぼろぼろと来るのが結構多いので、10月一杯ぐらいは返信を待ってですね、その後集計等々の作業に入っていくということで考えております。

集計自体は、もう1、2週間あれば、1回閉めてしまえば、1週間もあれば出せると思います。あとはその分析等々をどこまでやるかっていうところはまだ別ですけども、集計そのものは1週間程度で出せるもんだということで考えております。以上です。

○委員長（金子恵委員）

浦川委員。

○委員（浦川圭一委員）

当然ここで無作為にですね、当たられた方たちも来る可能性がありますので、そういったもの、結果を聞かれる、聞かれなは別にして、報告する、しないも別にして。どうしても11月の末か12月の議会がありますんでですね、議会前ぐらいまでかですね、そこら辺で調整をされたらと思います。

○委員長（金子恵委員）

他、ありませんか。

岩永委員。

○委員（岩永政則委員）

今、この開催日時、期日の面で今議論になってるんですけども、今の浦川議員の質問と絡めた、これも一つの議案になると思うんですけどね。テーマになると思うんですけども、本来、議会の報告ですから、さまざまな議会報告の内容があるというふうにも思うんですけどね。今もう、もうすぐ10月なんですね。今のこれも10月末だということであるし、時間的に考えますと、今年いっぱいは無理じゃないのかと。もう11月の下旬になるとね、当然一般質問等の話も出てまいりますしね、整理もありますし、もう12月初めには議会が始まる。で終わったら正月、ということになれば、当然12月を

超えたですね、翌年の早々にやるのかね、中旬やるのか、あるいはその末にやるのか、そのあたりの時期になっていくのかなという私的には考えていたんですね。

皆さん方で一緒に話し合っ、そういう時期的なものを考えながら、いつが1番いいのか、また、あまり寒くなり過ぎてもいけませんしね、2月でもいいんじゃないという話もあるかもしれませんが、1月中がいいのかなという私的な考えであります。以上です。

○委員長（金子恵委員）

他、ありませんか。

今年度中ということで、期限としては3月中に1回をすればいいということなので。

今、特別委員会を考慮して11月一杯ということと、アンケートの結果を踏まえ同じく11月、でももう時期的に日程等の関係で1月以降にした方がいいんじゃないかというご意見が出ておりますが、この点どちらが他の皆さんはいかがでしょうか。

日程が詰まってしまうというがあるので11月いっぱい。その点を考慮しての1月ではというご意見だったかと思うんですが、どうでしょうか。一応11月というご意見が多いようですけれども、11月中に報告会を開催するという方向で決めていくということで、よろしいでしょうか。

竹中委員。

○委員（竹中悟委員）

あのね、今までの経緯を見ても、さっきから言ってるように回数を何回、何箇所に分かれてするかとかね、いろんな問題も含めてね、やはりまだ検討すべきことがたくさんあると思うんですよ。だからね、やはり私はどちらかというと、やっぱり今年度内の方の開催ということで、岩永委員の方に賛成なんですけど。11月までにそれをまとめきるかと言ったらね、多分僕はまとめられないと思う。やり方もね、前回ワークショップ評判が良かったと言ってるけど、たったあれだけの人間に評判がいいとか評価ができるかどうかということね。それからその前の年にやった、会場を3つしたですかね。それも人間が集まらないところもあったし、会場多くしても集まらないものは集まらない。

そういうことを全部含めて考えると、やはりもう少し期間おいてね。しかし基本条例中の中で年に1回するとなってるから、要は今年度中にはしないといけないけど、やっぱり少し日時を伸ばして検討してやった方が、私はいいと思う。

○委員長（金子恵委員）

他の方はどうでしょうか。

中村委員。

○委員（中村美穂委員）

特別委員会がありますから、本来であれば11月末ぐらいにした方がいいのかなと思うんですけど、その資料とか打ち合わせ等々の問題があつて、実際問題は11月末にするというのが厳しいのではないかなと考えております。

○委員長（金子恵委員）

分部委員、いかがでしょうか。

○委員（分部和弘委員）

個人的にもちょっと11月日程入っていて、個人的なこと関係ないと思いますけども、できれば、じっくりやった方がいいのかなって意味では11月じゃなくて、1月開催して、はっきりとアンケートの分析もした上でやっていった方が住民により理解されるのかなというふうに思います。

○委員長（金子恵委員）

吉岡委員、いかがですか。

○委員（吉岡清彦委員）

なかなか難しいですね、はっきり言ってね。だからこれ作った時から僕もずっとそういう疑問点もってきてね、この報告会というのをずっと今まで見てるわけですけども。

何を報告するのか、それによってまた違うでしょうし、確かに11月の時期が大変だし、また1月になったら新年会とかいろいろまたあるし、やっぱり2月とかなってくるかなっていう気もするしね。皆さんが決めた日でやっていかなきゃいけないと思ってますけどね、私もね。決まった日で。ただし、僕もいろいろ日程が入ってるからね、ちょっとできない時もあるかもしれないけども、日程についてはもう皆さん方の方で決めてもらえればいいと思いますけどね。

○委員長（金子恵委員）

11月というのはやっぱり急なので、1月ぐらいがいいんじゃないかというご意見が多いようですので、1月の何日ってというのは今現在ではちょっと決められないところもあるでしょうが、次回ですね、ある程度の資料を作るに当たって会場をいくつにするのかっていうところと、その時の班編成ですね。この間出てたのは、小人数でやっていいんじゃないかというご意見もあったりとかしたので、次回この報告会の検討をするに当たり、資料を作るためにも、この会場数と班編成のこの2点を今日、決めていただきたいと思うんですが、ご意見を頂ければというふうに思います。いかがでしょうか。

竹中委員。

○委員（竹中悟委員）

今話を聞くと、要は複数のところでやるようなことを前提にお話されてるけどね、まだこの委員会の中では、その確定まであってないわけですね。だから、それも先にやらないといけない。そうしないと日程も決まらないと。

○委員長（金子恵委員）

だから、この会場をいくつにするかというところで、その班というのも自ずと決まってくるのかなと。で、ここがその全員でするのかどうか、この2点を決めていただければと思うんですが、そこでご意見をいただければというふうに思っておりますが。

竹中委員。

○委員（竹中悟委員）

誰も意見が出ないから。私個人はもう1カ所でいいと思います。全協でね、何人かの方が何カ所でと日程を言われたけど、今の人数を見ればね、やはり1カ所でやって、それを集中的にやっぱり皆さんに結局ずっと網羅していくというのがね、基本だと思うんですね。分散していいのか悪いのかっていうのがあるけど、基本的にはまだ始まったばかりで、1つのこともやれないのに、それを結局皆で分散してやるというのは僕は物理的に不可能と思いますよ。だからね、私個人は1カ所がいいと思います。

○委員長（金子恵委員）

他の方はいかがでしょうか。

中村委員。

○委員（中村美穂委員）

前回の委員会の時にも少し話したかもしれないんですけど、視察の時にコミュニティ単位とか、自治会は50あるので、なかなかその50の自治会の浸透は難しいと思うんですけど。コミュニティ単位といえば5つですけど、5会場もするのはどうかなという考えがありますので、1カ所というよりも、例えば2カ所、3カ所コミュニティ単位で同じ日にするのか、日にちを分けるのかまでは、まだちょっと私も自分の中では言えないですけども、もし1日でするんだったら、2カ所だったら2班に分かれてとか、あんまり細分化して別れば答えられるのかなとか。その会場設営等との同じ日にするのならですね。他の日にすれば別にいいのかなと思うんですけど。今回複数でやってみるのもいいのではないかと思います。

それに合わせてもう少しコミュニティとか、そういう方にも議会報告会についてお願いっていうのはもうしてないと思うので、そういった形で、コミュニティの会長さんとかそういった方々にお願いするのも1つ手ではないかと思います。

以上です。

○委員長（金子恵委員）

他、いかがでしょうか。ご意見ありませんか。

安部委員。

○委員（安部都委員）

なかなか、コミュニティ単位で5カ所でするというのはなかなか難しいのかなっていうところもあります。例えば去年、一昨年もふれあいセンターはゼロでしたので。

だから1カ所ですて、昼と夜に、昼で来られない方は夜に来ていただくというような形で1カ所とするのもあるし、例えば2カ所ですて昼、夜に分かれてするという形もあるのかなと。日にちをまたそれぞれこう変えるという形もあるんですが、大変かなというのもあるしですね、日にちをまたそれぞれ伸ばしたらですね。だからその日のうちに昼夜か、続けて2日間のうちに昼夜かどっちかするべきじゃないかなというふうに思います。

○委員長（金子恵委員）

他にご意見ありませんか。

岩永委員。

○委員（岩永政則委員）

いろいろな考え方が、これはあるだろうというふうに、それぞれ聞けば、あるだろうというふうに思うんです。ただその流れからいきましてね、4回目になりますかね、今度でね、4回目になりますよね。そうすると、今、安倍さんも言われたように、ふれあいセンターではゼロだった。多目が20何人。この長与の場合は、3、40人だったんですが、ある議員が自分の、あれに手を回して来ていただいた。そういう状況から考えましてですね、広く回数を増やしてですね、やるというのも1つの手だろうと。ところが1箇所ですることでもそれも1つの手だろうと思うんですけども、なかなかこう実践をしてみてくださいですね、多数の箇所ですることでも非常に厳しいのかなという感じしますけども、私は5カ所ぐらいにしてでも、いいのじゃないかというのは、考え方もここまでくれば、1回、もう少し広げてやってもいいんじゃないかと。いつも時津のこと、言うこともありますけれども、時津は3人1組ぐらいでね、回っておられるんです。これ毎年ですね、やっておられる。

こういうことを聞きますとね、かなり、2、3人しか来なかったという会場もあるそうです。ところが10人ぐらい来た。それを5カ所でやれば、10人来たなら50人ということで、それが果たしてその議会報告会なのかという本質論を議論していくと、いかなもんかなという感じはしますけどね。やっぱりやるならば、多数の皆さん方に参加をいただくと。より近くですることになると、参加をしやすくなるんじゃないかなということから、相対的に考えますとコミュニティ単位でもいいのかなと。この前の全協の話の中から察してですね、そう変わらない考えなのかなという感じをしていたんですね。

したがって、例えば2組に分けてですね、その5箇所ですった場合に、1組A班が2回、B班が3回なるかもしれませんね、3カ所に。あるいはその3カ所は全員がやると、3回目はですね。そういうことも考えると、そう苦勞するようなことでもないのかなということも私は感じておるんですね。

だからそういう意味からも、少し時間をとって、班分けをしながらですね、十分研究をしながら、年を超えても、やったらいいんじゃないかなというふうに、あの時の全協の意見を聞きながらですね、考えておったところです。以上です。

○委員長（金子恵委員）

他、ありませんか。

1カ所で全員ですってっていくつという分と、その昼夜、日程的に分けてはどうかというところと、コミュニティ単位で小人数でとか、2組ですという場合もいろいろあり得るだろうということで、ご意見が出ておりますけれども、具体的に進めていくという上で、

今日皆さんから頂いたこの場所1カ所、複数でっていうところでした場合に、どういふふうな資料を持って次の報告会の検討するのに、どういうものが必要かをご意見を頂いた上で資料を作ったりとかしたいと思うんですけども、何かこういうところをもう少し考慮した資料を、この広聴委員会で出してほしいというのがあれば、それをもってまた改めて検討に入るといふことにしたいと思うんですけど。資料的なもので、何か要望とかないでしょうか。

浦川委員。

○委員（浦川圭一委員）

資料的なものといえば、ちょっと先ほどの話戻らせていただいて。1カ所で全員でやるのかとかですね、5カ所でやるべきだとかいろいろ話もあるんですけども、例えば、全員で5カ所まわるとかですね。5カ所に3人ずつ分かれて、1日で終わらせるのかとか、セットでやっぱり考えんといかんと思うんですよ。だから、2班にして、今年は2人コミュニティ、翌年に2つコミュニティとかですね。それとも全員で5年かかって全部周るとかですね。セットでやっぱり決めていかないと。3人で5つに分かれて1日で終わらせるのも、ちょっと少ないかなという気もするし、そこら辺を、私は1番ベストなのは2班ぐらいに分かれて、とりあえず1年目に2つ済ませて、2年目にまたしないところを2つ済ませて3年目に残りの1個と最初にした1個と合わせるとかですね。

3年がかりぐらいでやればどうかなというふうな。その両方何カ所もあるとかというのも、そこに加わる人数もセットでやっぱり考えるべきだと感じました。以上です。

○委員長（金子恵委員）

岩永委員。

○委員（岩永政則委員）

先ほど私が言ったのはですね、ちょうど今15人、議長除いて15人ですね、当然議長も来ますけどもね。15人で3班に分けると5人なんですね、5人になりますね。それを5会場で例えばすると、もしなったら私がA班、あなたがB班とすると、例えばね、委員長がC班としますと、私のA班は2カ所行けばいいわけです。浦川班はですね、B班は2カ所行けばいい。それで、もう1つ作れば、もう1カ所だけでC班はいいわけですね。それでもいいのかなと思ったりですね、あるいは2回行きまして、それで3回目、2班に4カ所終わりますから2回行けばね、もう1カ所残りますから、それは例えば全員で行くとかですね、それで翌年は今度は人を変えたりしながら今度全員で行くところはまた別のところへ行くと。例えば中央地区だったら、上地区とか下地区に全員で行くとかですね、そういうやり方もあるのかな。これは私の1案ですけどね。そういう感じの発言をさっきはしたんですね、そういう組み方をしていくと。

今、議題は内容は、資料的なものですから、資料どうしようかという委員長からの話で、全協の時は2、3人発言があっただけですけどね。決算が9月にありますから、1月にしましても、12月の議会の内容もありますね。9月と12月の中身のものを幾

らかずつとって、それでその資料を作っていくということで、もう1人の発言は、同じようなことなんです、議会の中であったことを資料としてすればいいんじゃないかというような発言がありました。そういうことで、これはみんな一緒だろうというふうに思うんですよね。そういう面を踏まえながら、今度は特にアンケートとれば、それも資料としてはできますしね、いいのかなというふうには思いますけどね。

○委員長（金子恵委員）

他にありませんか。
安部委員。

○委員（安部都委員）

今、岩永議員が言われたように、5人体制で3班に分かれて、それぞれのカ所、A班B班C班として、5カ所ですね、行く方向が1番ベストなのかなというふうに、今聞いてて思いましたので、賛成です。

○委員長（金子恵委員）

5人1組で班を作ってというところで今ご意見が岩永議員と安部議員から賛成があったようですけども、この5人×3班ということでどうでしょうか、一応案として検討させていただいてよろしいでしょうか。

浦川委員。

○委員（浦川圭一委員）

その5人×3班で、1年目に5箇所回るといことか、それとも1年目に3カ所回って次の年2カ所と最初のもう1個3ヶ所回るとか、そこを確定を。

○委員長（金子恵委員）

今の、今年度中に回るのかっていうところと、来年度までかけて2、3年にかけて、分けて回るのかというこの件、決めた方がいいんじゃないかということですけども、この点はどうでしょうか。

浦川委員。

○委員（浦川圭一委員）

私5人の3班で3カ所行って、当然開催する場所がそれぞれのコミュニティの拠点になるようなところだと思いますけども、そこの人しかだめですよという限定は加えないわけでしょうから、そこはもう全町に呼びかけて開催をするというだけの話ですので、次、開催してない2カ所については翌年度やるとかですね、それでいいんじゃないかなと。そしたら1日で1回で終わるのかなというふうに思います。

○委員長（金子恵委員）

浦川委員のご意見は、先ほどの中村さんの意見と同じ意見なのかなというふうに思いますけども、日程的なものはですね、何回するとかいうのはまだ今日はなかなか決めきれないところだと思いますが、ではこの5人で3班に分けてというふうになると、最低3カ所はした方がいいのかなというふうに、すいません、委員長交代します。

発言をしたいので委員長を交代します。

○委員（安部都委員）

はい、金子委員。

○委員長（金子恵委員）

私も5人で3班に分けてすると、ある程度細部まで1つでも多く周れるのかなと思うので、5人で3班作るのであれば今年度、3カ所というふうにその日程的なものは1日するか2日でするかというのはまだ、今の時点でわからないんですけど。資料的なものとかでお手伝いを他の班に願うこともあるのかもしれないので、そこは次回回したとしても、私も5人×3班で進めていった方がいいんじゃないかというふうに思います。

○委員（安部都委員）

委員長交代します。

○委員長（金子恵委員）

他ありませんか。

分部委員。

○委員（分部和弘委員）

5人の3カ所、で日にちがまだいつやるかというか、日にちが同じ日にやるとか別の日にやるとかありますけども、機材の関係で、どういった説明、パワーポイントにして使うのか、そういったものも含めれば機材の問題も出てくるし、どのようなやり方っていうとも検討しないといけないのかなというふうに思いますし、前回、休日開催とかっていうのも参加者から言われてるし、休日開催するのであれば、平等性からいけば全員でやった方がいいのかなというふうに思いますし、そういったところももうちょっと検討しているのかなというふうに思います。

○委員長（金子恵委員）

他、いかがでしょうか。

なかなか1度には細部まで決めるというのは無理なので、今日ですね、5人で3班ということで、この部分は大体何かご意見が多いようですので、次回のまた広報委員会の後に、この5人の編制案と、そしてそうした場合の前回役割分担というのを作ってたんですけども、こういうところにその5人を当てはめた場合の人数編制、なかなか5人では無理だろうというところでの人数編成があらうかと思うので、そのあたりのちょっと、資料をまた新たに作ってご提示させていただくとともに、また次の段階へのその検討というのを進めていくというふうなやり方にしてはどうかと思うんですけども、そういうふうなやり方、順番に決めていくということでもよろしいでしょうか。

では、次ですね、5人でした場合の役割分担はなかなか厳しいので、その司会進行活動報告等の係を決めつつ、新しい表かなんかで皆さんにお示しができるように、ちょっと作ってみたいというふうに思いますので、それがちょっと29日に間に合うかどうか分からないので、29日に間に合えば皆様に提示しますし、でなければ4回目の広報広

聴委員会の後にも再度この報告会に関しては話し合いをしたいというふうに思います。

よろしいでしょうか。他、皆さまから。

竹中委員。

○委員（竹中悟委員）

もうそれ決まったの、その5人でやるのは。その辺ははっきりしてください、僕は決まったことは守るからね、僕は個人的には1くくり、1カ所がいいという発言をしたわけだから。今の議事進行でいけば、何かあやふやになって、それで5人で決まってしまったような感じがするけど、ちょっと進行的におかしいと思うんですよね。僕はそれは、私自身はね、1カ所でね、5人ですということ、5人でその説明をみんなできるかどうかね。で、その住民の方の質問を受けきるかどうか。初めにやった時のね、3カ所でやった時は結局20名の方がいた、議員がね。今度15名ですよね。15名の中の5名で新しい方もおられるし、その住民の方のね、質問が結局、その対応できるのかなと思って。僕はそれが心配ですね。私的な感覚で喋ってもらうと困るからですね、これはね。議会全体の方向として話をしていただかないと、平等にしないでいただかないといけないということですから、僕はその5人の人数の中で、その対応できるかなっていうのを心配してます。はっきり言ってね。一応意見を言っときます。

○委員長（金子恵委員）

5人1組がいいのではないかというご意見が多かったので、私が先走って決定というふうな感じで捉えられたのだと思うので、そこは申しわけなかったと思いますけれども、この5人3班というご意見が多いようですので、この形で決を採りたいと思いますので、5人1組の3班で班編成は行うということでもよろしいでしょうか。

挙手をお願いします。

（賛成多数）

ではご意見の方が多いですので、班の編成は5人3班ということで決定をさせていただいて、次に進めたいというふうに思います。

他、何かありますか。

安部委員。

○委員（安部都委員）

その1班の中で、この広報委員の方たちを3人、3人、2人というふうに分けて入れて、そしてあとまた先輩議員と若い議員とをそれぞれですね、分担して入れるというふうに、回答としてはそれぞれの回答をしっかりと行っていくというふうにしていった方がよろしいかと思います。

○委員長（金子恵委員）

では次に向けてですね、5人3班の編成というのは、前回も行いましたように広報聴の常任委員会、あと産業と総務の常任委員会が2つありますので、こちらの方のそれと期別、こういうものは全て考慮した上で、班の編成の案というものを提示させていた

だいて、次に進めたいというふうに思います。

よろしいでしょうか。他、皆様から何かありませんか。

それと最後になりましたけれども、先ほどお配りした資料の中に町民意識調査っていうか、このアンケートの分の案ということで出しております。

こちらの方ですね、他の議員の方にお出ししましたところ、何点か変えた方がいいのではないかという点がありましたので、そちらの方ですね、正副議長と事務局ともに、採用させていただいたというか、変えさせていただきました。それは、開いていただいて、3番目に、前は役場内のテレビ、ユーストリーム、ユーチューブで見たっていうところを、これでははっきりユーストリームなのかテレビなのかどちらか分からないということで、ここを2つに分けて、見たことはないというところを4番目に持ってきて、この回答を4項目にしております。

竹中委員。

○委員（竹中悟委員）

僕は初めから不思議に思ってたんですけど、この初めの長与町の議会広報委員会っていうことで載ってるけど、この内容については、全協で私たちも話は聞きましたけど、この委員会としては1回も審査してないんですよ、実はね。そして、もう広報広聴委員会という名前だけが先行してでている。だからこの手続き上ね、これいいのかなと私は思うんですね。これを出すことについては別に反対しないんだけど。

要はまず、議長の諮問機関である議会運営委員会に議長の意思を諮問して、そして議会運営委員会から答申をもらうと。議長がそれについて、広報委員会が適当とすれば、広報委員会にこれを委託するというのが筋だと思うんですね。

これは、岩永委員も全協で言ってたことだけだね。だからその手続きが全然あってない。だから、この間も議長、副議長、広報委員長でね、もう決めてしまったような言い方だったけど、基本的にはやはりこの委員会で1回審査をしておくべきだと。決まったことをぼんと投げられてもう、ああそうですかと終わってしまうんです。そしたらね、その委員会には役割がないわけですね。実際この仕事自体は、この広報広聴委員会の仕事です。しかしその手続きをね、踏まないといけないということがやっぱり皆さん覚えておかななくちゃいけない。議会というのはルールで出来てるわけだから。

感情でやってるわけではないからですね。出すことについては異議はないけど、その手続きがね、僕はおかしいというふうにちょっと提言しておきます。

○委員長（金子恵委員）

長与町議会広報広聴常任委員会にこの作業ですね、このアンケート調査に関して行ってくださいということで、こちらになったその経緯っていうのを事務局の方で分ければ説明を願いたいというふうに思いますけれども、局長、いかがでしょうか。

局長。

○議会事務局長（中山庄治君）

経緯につきましては、まずアンケートを4年目、23年度に行って以来してないので、したらどうかということで議長の方から諮問を議会運営委員会の方にありました。議会運営委員会の中で、これを再度、全協の方に出してするかしないかということを含めて、報告をすると。あとは、どうするかは全協でこの前決まっておるので、全協の中でそういうふうになる説明はされてると思いますので、皆さん、全会一致でやりましょうということだったので、流れる的にはそこですね。以上です。

○委員長（金子恵委員）

このアンケート調査に関しては、私もまだ検討中だが、仕事の内容的にはこの広報広聴に仕事の的には来るかもしれないというところまでの報告は受けておりましたが、内容的には当日見たというのが正直なところなんですけれども、そこで全員協議会で決まりましたので、この中身的なものは議長の諮問ですね、議長を中心として検討したというところなんです。ほとんど前回と変わるところはなかったので、それに関して、一応ご意見を頂いて、改めたところでまた再度お出しして、2カ所の訂正がありましたので、そちらの方の確認ということで、今日は提示をさせていただきました。私の方からの経過としては、以上ようになっております。

そして、この間の全員協議会では日程的に21日に締切りを持ってきているというところで、皆さんの賛成をいただいたので、それでは期間がなかなか短いので正副議長、そして事務局に一任ということで、皆さまから承諾を得ておりましたので、今回の訂正を行ってここに出しておりますので、この3番目のこの4項目と最後の14番目の（8）の分のこの2カ所が訂正になっているというところの報告、ということに本日はなりますが、どうでしょうか。

竹中委員。

○委員（竹中悟委員）

僕は内容を言ってるわけじゃないんですね、手続き上のことを言ってるだけであってね、内容についてはいいと思うんですよ。それでもね、広報広聴委員会の常任委員会があるんだから、やっぱりそういう手続きを踏むと、全協に行く前にもね、やはりこの委員会での初め相談とか内容についてもね、ここで初め揉んでいいわけだから、それをまた全協に出していいわけだから、だから内容については別に文句を言ってるわけではない。要は手続きについてね、そういうことをやったら、そしたら今後そういうことをずっとやるんですかということなんですね、他のことについてもね。議長諮問をして、その答申をもらって、その段階の中でね、もうなあなあになってしまうというね、全協に諮って、それで何でも決まってしまうんですかと。そこが違うでしょってことを言うてるんですね。

だから今回のことはもう仕方ないから、僕がさっき言ったようにね、今後、やはりちゃんとした手続きを踏んでいただきたい。そういうふうに注意してるわけです。内容についてはもう別に文句はないですよ。

○委員長（金子恵委員）

分かりました。今回ですね、これに関して不備がなかったのかをちょっと一応確認を再度、一応確認をするとともに、次回ですね、こういうことがないように改めて注意をして進めていきたいというふうに思います。

他ありませんか。

アンケートについての説明に関してはこの2カ所ということで、これで4日に特別委員会がありますので、そのあとに、皆さま参加されますので、アンケートの発送準備を全議員さんでしていただくと思うんですけども、そちらの方も確約を欲しいということで全協に諮っておりましたけれども、この委員会の方でも、皆さんに手伝っていただくということで、了解いただけますでしょうか。なかなか、2,000通ですので、1人でも多い方にしてもらうのがいいと思うので、いいですかね。

5日でしたっけ。4日ですね。研修の後です、すいません、私が言い間違えましたけど。研修の後にお手伝いを願いたいというふうに思ってます。

他ありませんか。

ないようでしたら、本日の議会広報広聴常任委員会を閉会いたします。

お疲れさまでした。

（閉会 12時03分）

委員長